令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　617

事務事業名称		ごみ置場開発協議事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　環境部		課：　環境事業課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	枚方市開発事業等の手続等に関する条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	・開発業者等に対し、事前協議を行うことにより適正な指導ができ、また近隣の住民の方も説明を行うことによりごみ置場への理解が得られ、ごみ置場を確認できる。						
	対象者（受益者）	ごみ置場を設置する開発事業者/ごみ置場を使用する住民						
	現状・課題	・狭隘な土地、道路に面した共同住宅については、枚方市開発事業等の手続等に関する条例に基づいたごみ置場を設置しても、収集車両が侵入できる場所まで排出してもらう必要がある。また、ごみ置場を使用する住民より近隣の住民の理解が得られず、ごみ置場の設置に苦慮する場合がある。						
	事業の概要	枚方市開発事業等に関する条例に基づき、開発者等とごみ置き場に関する事前協議を実施する。また、開発事業に係る申請内容や必要書類を確認し、適切な指導等を行うとともに、現地による検査など確認を行う。						
	年間の主な事務	開発事業に伴う、ごみ置場設置の事前協議の受付						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	1.05人	1.85人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.80人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	8,072	15,187	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	8,072	15,187	—	—		
歳出	物件費計	413	462	—	—	700	66.0%
歳出計		8,485	15,649	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		413	462	—	—	700	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 開発事業に伴うごみ置場の設置について、事前協議を受け付ける(件数)。	件	157 件	142 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	開発事業等において、ごみ置場の設置等の指導を行った。(157件)
R7年度	開発事業等において、ごみ置場の設置等の指導を行った。(142件)
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	開発事業等におけるごみ置場の設置等の指導を行っていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　620

事務事業名称		粗大ごみ等受付事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境事業課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1999(H11)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	粗大ごみ等の申し込みに対し、適切に処理できている状態。						
	対象者(受益者)	「粗ごみ」、「大型ごみ」、「臨時ごみ」、「動物の死体」、「持ち込みごみ」の排出を行う枚方市民						
	現状・課題	市民が粗大ごみ等を排出するにあたり、排出ルールがわかりにくい。						
	事業の概要	粗大ごみ等電話予約受付は、「粗ごみ」、「大型ごみ」、「臨時ごみ」、「動物の死体」、「持込みごみ」に分類して収集 予約の受付を行い戸別収集をする。また、「粗ごみ」、「大型ごみ」は、インターネットによる予約受付も合わせて行う。						
	年間の主な事務	粗大ごみ等の申込受付						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.95人	3.20人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	22,680	26,269	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	22,680	26,269	—	—		
歳出 物件費計	63,467	70,341	—	—	71,066	99.0%
歳出計	86,147	96,610	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	63,467	70,341	—	—	71,066	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 粗大ごみ等の申し込みを受け付ける(実営業日数)。	日	255 日	256 日	― 日	― 日

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 依頼のあった粗大ごみ等について、受付を行う。

指標: 粗大ごみ予約センターの受付件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	300,000	300,000	300,000	300,000	件
実績	322,536	312,070	―	―	件
算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 粗大ごみ等排出の依頼に対し、適切に処理できている。

指標: 粗大ごみ等の収集量
(目標数値:R1～R5の平均収集量)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	6,210	6,210	6,210	6,210	トン
実績	5,225	5,001	―	―	トン
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

市民による粗大ごみ等の適正排出

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	受付件数については目標値を上回っており、現状の取り組みを継続して行っていく。 また、粗大ごみインターネット受付のチラシやマニュアルを市のイベント等で配布を行った結果、インターネットの受付率が増加した。
R7年度	受付件数については目標値を上回っており、現状の取り組みを継続して行っていく。 また、粗大ごみインターネット受付の受付率も増加しており、引き続きインターネット受付の周知を行っていく。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	目標数値を見据え、円滑な粗大ごみ受付を行う。 また、インターネット受付方法がリニューアルされたため、インターネット受付についても引き続き周知を行っていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　626

事務事業名称		塵芥収集業務						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境事業課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　2011(H23)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	・廃棄物の排出抑制と処理の適正化により、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。 ・高齢や要介護等を理由に屋内のごみを出すことが困難な世帯に対しごみ出し支援をおこない、市民サービスの充実を図る。						
	対象者(受益者)	枚方市民						
	現状・課題	・家庭から出るごみを適正に収集処理する。 ・市民サービスを低下することなく、効果的・効率的な収集体制を確立する必要がある。 ・高齢化や要介護化等により、屋内からごみを出すことが困難な方が増加傾向にある。						
	事業の概要	・「一般ごみ」は市域を2ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに週2回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) ・「粗ごみ・大型ごみ」は電話及びインターネット予約による申し込みにより収集する。ただし、粗ごみと大型ごみそれぞれの区分ごとに1世帯、月1回6点までに限る。(戸別収集方式) ・「資源ごみ(ペットボトル・プラスチック製容器包装)」は市域を5ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに週1回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) ・「資源ごみ(空き缶、びん・ガラス類)」は市域を10ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに月2回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) ・「紙類(新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ)」は市域を10ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに月2回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) ・「臨時ごみ」は電話申し込みにより収集する。申し込み回数や収集回数の制限を設けない。(戸別収集方式) ・「資源ごみ(使用済小型家電)」は市内の公共場所や協力店舗に専用の回収ボックスを設置し、週1回収集する。(拠点回収方式) ・「資源ごみ(水銀使用廃製品)」は市内の公共場所や協力店舗に専用の回収ボックスを設置し、週1回収集する。(拠点回収方式) ・「ふれあいサポート収集」は、世帯構成(同居)するすべての者が、ホームヘルプサービスを利用し、かつ要介護1以上または障害等の要件に該当する世帯に対し、日常のごみ(一般ごみ・資源ごみなど)を市職員が玄関先まで収集に行く。(当該サービス利用者に限り、屋内の大型ごみの持出し収集をする。) ・「大型ごみ持出しサポート収集」は、ふれあいサポート収集を補完する事業として、世帯構成(同居)するすべての者が、75歳以上または、要介護1以上等の要件に該当する世帯に対し、大型ごみを市職員が屋内から搬出し、収集する。(当該サービス利用者に限り、同時に粗ごみも持出し、収集を可能とする。)						
	年間の主な事務	家庭から出るごみの適正な収集及び大型ごみ持出しサポート収集						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	52.00人	45.63人	—	—
再任用	3.20人	10.50人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	6.89人	6.58人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	416,822	430,227	—	—		
		会計年度任用職員	31,341	29,837	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		448,163	460,064	—	—		
	物件費計		1,239,045	1,594,641	—	—	1,594,967	100.0%
歳出計			1,687,208	2,054,705	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,239,045	1,594,641	—	—	1,594,967	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 家庭から出るごみの適正な収集量	t	50,605.67 t	50,387.72 t	— t	— t
② 大型ごみ持出しサポート収集件数	件	409 件	385 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	・家庭系一般廃棄物収集全般に関しては、2人乗務やペア収集の運行体制を確立したことで、サービス水準を低下させることなく運用することができた。 ・大型ごみ持出しサポート収集に関しては、ホームページや広報に掲載し、サポート収集の周知を行った。
R7年度	・家庭系一般廃棄物収集全般に関しては、2人乗務やペア収集の運行体制を確立したことで、サービス水準を低下させることなく運用することができた。 ・大型ごみ持出しサポート収集に関しては、ホームページや広報に掲載し、サポート収集の周知を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	・収集体制が縮小される中、効率的・効果的なごみ収集業務体制構築に加えて、スピード感ある実行時な収集体制の構築するとともに多様化する市民のニーズに答えていく。 ・「大型ごみ持出しサポート収集事業」については、対象者のさらなる拡大に努める。 ・大型ごみ持出しサポート収集利用件数の緩和。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**拡充**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　652

事務事業名称		し尿収集業務						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境事業課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、地方自治法、同法施行令、同法施行規則、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例及び同施行規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。						
	対象者(受益者)	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者/一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者の近隣に在住する市民・事業者						
	現状・課題	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごせるよう収集・運搬業務を迅速かつ的確に行う必要がある。						
	事業の概要	定期収集は、おおむね21日を周期として行い、臨時汲み取りは、電話受付後、随時収集を実施している。						
	年間の主な事務	・対象世帯のし尿収集及び運搬 ・し尿処理手数料賦課徴収事務 ・し尿収集処理受付事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	6.90人	7.89人	—	—
再任用	1.21人	1.41人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.40人	0.10人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	59,493	72,242	—	—		
		会計年度任用職員	1,023	337	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		60,516	72,579	—	—		
	物件費計		1,522	1,588	—	—	2,019	78.7%
歳出計			62,038	74,167	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,522	1,588	—	—	2,019	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 対象世帯に対し、し尿収集を実施する。	件	7,629 件	7,133 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	収集したし尿を適切に運搬する。
指標	年間収集量

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	1,084.98	990.8	912.27	858.64	kl
実績	1,138.89	1,050.69	—	—	kl
算出方法	年間収集量				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。
指標	し尿収集の要望に対する執行率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	100	—	—	%
算出方法	収集量/収集要望量×100				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

汲み取り世帯が減少する中でも、収集の効率化を進める。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	収集業務は、21日周期を原則に普通・大口・臨時の区分により、定期収集車2台で汲み取りを行った。公共下水道地区整備に伴い、汲み取り件数は年々減少しているため、収集車の受け持ち地区変更や収集区分の整理を随時行い、収集の効率化を進めた。
R7年度	収集業務は、21日周期を原則に普通・大口・臨時の区分により、定期収集車2台で汲み取りを行った。公共下水道地区整備に伴い、汲み取り件数は年々減少しているため、収集車の受け持ち地区変更や収集区分の整理を随時行い、収集の効率化を進めた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	し尿収集業務を環境事業課へ業務移管し、より効率的な収集体制の構築を図る	R8年度方向性	見直し

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	見直し	見直し	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　671

事務事業名称		不法投棄防止対策事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境事業課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1998(H10)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	廃棄物の適正処理の徹底が図られるとともに、不法投棄された廃棄物がなく、生活環境の保全が保たれたきれいなまちが実現している。						
	対象者(受益者)	不法投棄行為者						
	現状・課題	不法投棄件数は減少傾向にあるものの未だ多くの不法投棄が行われている。						
	事業の概要	廃棄物の不法投棄の防止を図るため、市民や自治会等からの要望により啓発看板の配布を行う。また、市民等からの通報やパトロールで確認された廃棄物については、土地の所有者や管理者等に対し、回収や対策等の助言・要請等を行う。行為者が確認された場合は必要に応じて警察と連携し、指導などを行う。						
	年間の主な事務	・不法投棄の問い合わせ対応 ・不法投棄箇所の把握(パトロール含む) ・不法投棄啓発看板の配布						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.50人	1.50人	—	—
再任用	0.40人	0.40人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	13,663	14,434	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		13,663	14,434	—	—		
	物件費計		136	188	—	—	230	81.7%
歳出計			13,799	14,622	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			136	188	—	—	230	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① パトロールの実施	回	463 回	539 回	— 回	— 回
② 市民や自治会等から要望を受け、啓発看板の配布。	枚	52 枚	73 枚	— 枚	— 枚

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明	パトロールの実施
指標	パトロール実施回数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	500	500	500	500	回
実績	463	539	—	—	回
算出方法	不法投棄重点箇所のパトロール実施回収				

ロジックモデル

アウトプット②

説明	啓発看板が実際に不法投棄された場所付近で掲示されることにより、再発防止や未然防止を図られる。
指標	啓発看板の設置地点数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	40	40	40	40	箇所
実績	52	73	—	—	箇所
算出方法	配布した啓発看板の枚数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	不法投棄された廃棄物による生活環境の保全上の支障がない、きれいなまちが実現している。
指標	不法投棄対応件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	150	100	100	100	件
実績	46	40	—	—	件
算出方法	市民や自治会等からの不法投棄の通報件数				

アウトカム②

説明	不法投棄された廃棄物による生活環境の保全上の支障がない、きれいなまちが実現している。
指標	不法投棄対応件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	150	100	100	100	件
実績	46	40	—	—	件
算出方法	市民や自治体等からの要望で不法投棄物の回収件数				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

不法投棄削減(減少)に向けた効果的な周知啓発(直接)→重点箇所のパトロール活動や不法投棄啓発看板の掲示(中間)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	要望を受けた市民や自治会等に対して、啓発看板の配布を行うことで不法投棄の未然防止に努めた。また、市民等からの通報やパトロールで確認された廃棄物については、土地の管理者等に連絡や、廃棄物の回収行うなど適正な処理を行った。
R7年度	要望を受けた市民や自治会等に対して、啓発看板の配布を行うことで不法投棄の未然防止に努めた。また、市民等からの通報やパトロールで確認された廃棄物については、土地の管理者等に連絡や、廃棄物の回収行うなど適正な処理を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	引き続き啓発看板の配布や、市民等からの通報及びパトロールで確認された廃棄物等を適切に処理を行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　942

事務事業名称		環境事業課運営事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　環境部		課：　環境事業課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	環境事業課内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する						
	対象者（受益者）	課職員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある						
	事業の概要	課の文書管理、物品管理、予算編成・決算管理並びに給与・休暇などの事務処理を行う。また、塵芥収集車両などの管理、収集コース編成など効率的な業務の運営を図る。						
	年間の主な事務	事務処理及び塵芥収集車両の管理、コース編成などの運営						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	14.70人	15.43人	—	—
	再任用	4.60人	0.50人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	1.54人	1.54人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	137,518	129,315	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	7,548	29,837	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	145,066	159,152	—	—		
	物件費計	43,111	46,743	—	—	59,299	78.8%
	歳出計	188,177	205,895	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	2,600	2,500	—	—	2,700	
	その他	393	0	—	—	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,993	2,500	—	—	2,700	
	一般財源（物件費充当分のみ）	40,118	44,243	—	—	56,599	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民サービスを低下させることなく運用することが出来た。
R7年度	市民サービスを低下させることなく運用することが出来た。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	備品管理、収集事業が円滑に遂行できる執行体制を整えるとともに、突発的な事態に対応できる体制維持を図っていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　975

事務事業名称		まち美化啓発事業（環境事業課）						
担当部署（R8年度機構）		部：　環境部		課：　環境事業課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　1980(S55)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	市が管理する道路や公園・緑地等の公共場所からごみがなくなり、清潔で美しいまちになっている。						
	対象者（受益者）	市が管理する道路や公園・緑地等の公共場所を清掃する団体						
	現状・課題	道路や公園・緑地等公共場所に捨てられる空き缶や吸い殻等のごみを回収し、環境保全や美観維持する必要がある。						
	事業の概要	・まちの環境美化を進めるため、市が管理する道路や公園・緑地等の公共場所において美化活動に取り組む市民団体や企業に対し、ごみ袋の配布や清掃道具の提供、ごみの回収の支援を行うなど、まちの美化に向けた取り組みを行う。						
	年間の主な事務	・美化活動に取り組む市民団体や企業の活動管理 ・ごみ袋の配布及び清掃道具の提供及び在庫の管理 ・登録受付窓口						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	2.30人	2.30人	—	—
	再任用	0.40人	0.40人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	19,813	21,001	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	19,813	21,001	—	—		
	物件費計	3,964	6,635	—	—	7,600	87.3%
歳出計		23,777	27,636	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		3,964	6,635	—	—	7,600	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① まち美化に取り組む市民や事業者等を支援する(地域清掃・アダプトプログラム・アドプトプログラム・ボランティアサポートプログラム登録団体数)	団体	347 団体	339 団体	— 団体	— 団体

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: まち美化に取り組む市民や事業者等を支援する。

指標: 清掃活動を行う団体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	352	352	352	352	団体
実績	347	339	—	—	団体

算出方法: 地域清掃・アダプトプログラム・アドプトプログラム・ボランティアサポートプログラム登録団体数

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 登録団体により清掃活動が実施され、市内のまち美化が進む。

指標: 登録団体が清掃活動を実施した活動回数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	1,330	1,335	1,340	1,345	回
実績	1,286	1,162	—	—	回

算出方法: 清掃活動の実施回数

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

公共の場所で行う美化活動者の活動意識向上(直接)→活動者へのごみの回収や、ごみ袋や清掃道具の提供などを支援することで美観の向上(中間)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市が管理する道路や公園など複数の公共場所において美化活動に取り組む市民団体や企業団体の希望者に対して、ごみ袋や清掃道具等の提供を行った。また、清掃活動により集められたごみの回収を行った。
R7年度	市が管理する道路や公園など複数の公共場所において美化活動に取り組む市民団体や企業団体の希望者に対して、ごみ袋や清掃道具等の提供を行った。また、清掃活動により集められたごみの回収を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	引き続き、市民団体や企業等が継続的に行う美化活動に対し、ごみの処分や清掃道具の提供支援を行うなど美化の取り組みを支援する。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　986

事務事業名称		カラス対策ネット等購入補助事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部	課:　環境事業課			区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2024(R6)年度　～　事業終了予定：　2026(R8)年度						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	カラス対策ネット等購入補助金　補助金性質:　その他補助						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	カラスなどの鳥獣によるごみの散乱被害を防止し、快適な生活環境を確保する						
	対象者(受益者)	枚方市民(市内に居住し、市域内においてごみ置場を利用する個人又は団体(自治会、管理組合))						
	現状・課題	ごみ置場において、カラスなどの鳥獣によるごみの散乱被害が未だに発生しており、衛生面だけではなく、ごみ収集作業時に散乱したごみの片付けに時間を要すなどの影響を及ぼしている。						
	事業の概要	カラスなどの鳥獣によるごみの散乱被害を防止し、快適な生活環境を確保するとともに、効率的なごみ収集作業を行うため、カラス対策ネット等の購入費に対し、補助を行う。(購入価格の3分の1、上限10,000円)。 3年後に補助事業の継続について検討する。						
	年間の主な事務	カラス対策ネット等購入費補助事業に伴う、申請手続き等窓口対応						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.50人	0.60人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	11,532	4,925	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		11,532	4,925	—	—		
	物件費計		1,780	1,896	—	—	2,000	94.8%
歳出計			13,312	6,821	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,780	1,896	—	—	2,000	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 申請受付	件	207 件	227 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：ごみ置場でのカラスなど鳥獣被害による、ごみの散乱防止のために補助金の交付を行う。

指標：交付確定数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	200	200	200	—	箇所
実績	207	227	—	—	箇所
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：ごみ置場でのカラスなど鳥獣被害から、ごみの散乱を防ぎ、まち美化を進める。

指標：設置箇所数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	200	200	200	—	箇所
実績	237	248	—	—	箇所
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

令和6年度は、207件の交付確定により、237ヶ所のごみ置場でカラスなどの鳥獣によるごみの散乱被害が防止でき、快適な生活環境を確保できた（中間）

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	予算額2,000,000円に対して補助金申請額1,779,900円（207件）であった。予算執行率を上げる工夫が必要である。
R7年度	予算額2,000,000円に対して補助金申請額1,896,300円（227件）であった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	補助金交付申請蒔に、今後の請求事務に関するスケジュールなどについて、明確な市民周知を行うため、配布資料の見直しを行うとともにホームページの見直し修正作業を行う。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	—	現状維持	現状維持	—	—